I-O DATA

画面で見るマニュアル
HDPD-AUT（Windows 編）



はじめに

お使いになる前に……2
各部の名称……3
本製品の機能……4

基本操作

パソコンとつなぐ……5
使う……6
取り外す……8

添付アプリ

バックアップアプリ Acronis True Image ……9
姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR ……14
ドライブ認識変更ツール……16

フォーマットする

フォーマットする……17
パーティションを作り直す……19

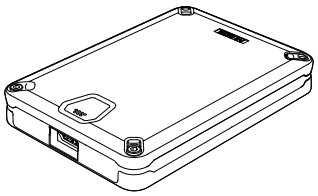
初心者用

データをコピーする……23

ヘルプ&ガイド

困ったときには……26

下線付き文字をクリックすると、リンク先のページへ移動します。
[HOME] で先頭ページに戻り、[END] で最終ページを表示します。
[Alt] + [←] で前に表示していたページに戻ります。
[→] は次ページ、[←] は前ページを表示します。



(C) I-O DATA DEV, INC.

お使いになる前に

購入されたハードディスクは、NTFS 形式でフォーマット済みのため、Windows でフォーマットする必要はありません。
※ Mac OS で使用する場合は、再フォーマットが必要になります。
※ Mac OS で使用したハードディスクを Windows で使用する場合も再フォーマットが必要になります。

フォーマットが必要な場合

●購入されたハードディスクを Mac OS で使用する場合
● Mac OS で使用していたハードディスク (Mac OS 拡張形式) をパソコン（Windows）に接続して使用する場合
●フォーマット形式を変更したい場合（FAT32 形式←→ NTFS 形式など）

フォーマットについて

ハードディスクを、お使いのパソコンなどでデータを読み書きできる状態にする作業です。
フォーマットにはいくつか種類があり、お使いの OS によって認識できるフォーマット形式が異なります。
ご利用の環境にあわせてフォーマットをしてください。

●フォーマット形式について

NTFS	Windows 用のファイルシステムです。 4GB 以上のファイルも保存できます。 Mac OS では読み込みのみ可能です。（保存はできません。）
FAT32	Windows と Mac OS のどちらでも使用できるファイルシステムですが、4GB 以上のファイルを保存することはできません。
Mac OS 拡張形式	（Mac でフォーマットする必要があります。） Mac OS 専用の形式です。4GB 以上のファイルを保存することができます。Windows では使用できません。 ※フォーマット方法は、画面で見るマニュアル（Mac OS 編）をご覧ください。

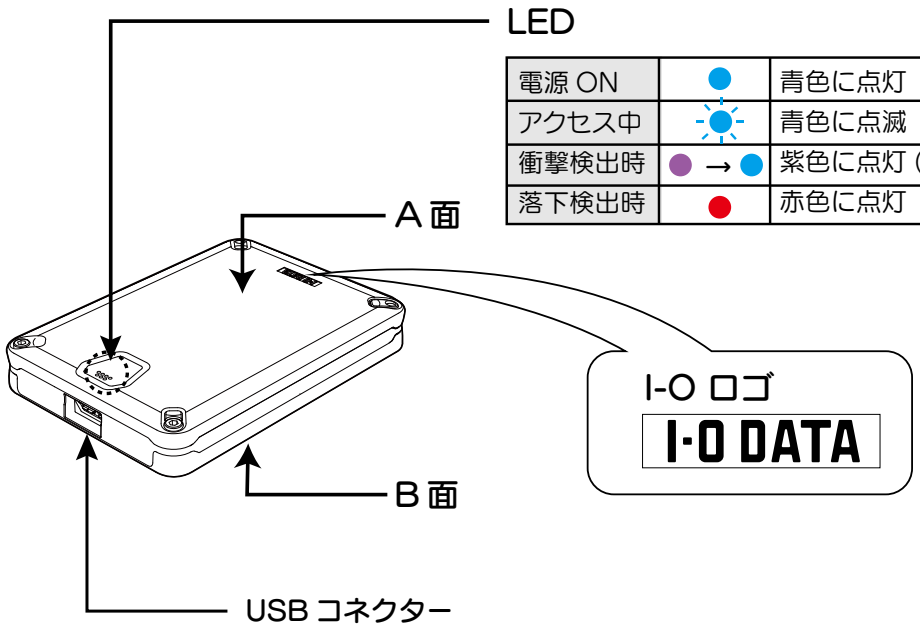
	NTFS	FAT32	Mac OS 拡張
Windows 8/7/Vista	◎	○	×
Windows XP	◎	○	×
Mac OS 10.6 ～ 10.8	△	○※ 1	◎

◎：読み込み、保存とも可能です。
○：読み込み、保存とも可能です。
（4GB 以上のファイルは扱えません。）
△：読み込みのみ可能です。保存はできません。

※ 1 FAT32 フォーマットの場合、Mac 環境でマウントする場合に時間がかかることがあります。

各部の名称

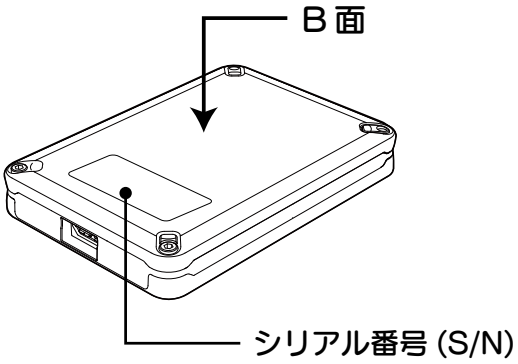
以下に本製品の名称について説明します。



電源 ON	●	青色に点灯
アクセス中	☀	青色に点滅
衝撃検出時	● → ●	紫色に点灯 (2 秒間) から青色に点灯
落下検出時	●	赤色に点灯

USB コネクター

※添付の USB 3.0 ケーブルを接続します。
USB 3.0 ケーブルは 2 本添付されています。
使いやすい方をお使いください。



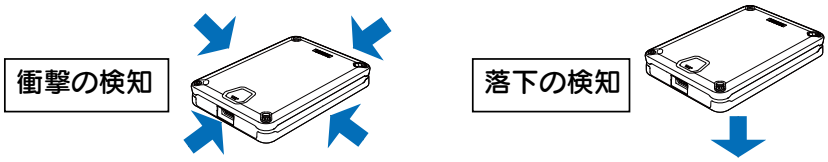
戻る

本製品の機能

本製品は、G センサーを内蔵した耐衝撃機能を持っています。
G センサーで衝撃・落下を検知して、本体の制御をおこないます。

■衝撃・落下検知機能

G センサーで衝撃、落下を検知した場合、以下の制御をおこないます。

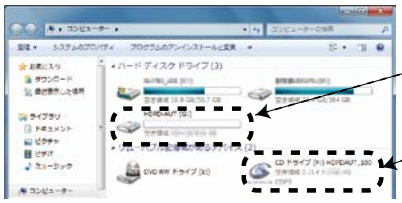


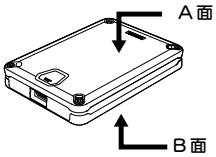
状態	本体の制御
衝撃検知	ハードディスクが損傷する危険性を軽減するため、一時的に処理を保留し、約 1 秒～約 2 秒後に処理を再開します。
落下検知	処理を中断して、ハードディスクの電源を切ります。 いったん、ハードディスクをパソコンから抜き挿し、もう一度、落下前の操作をおこなってください。

●センサーの感度を調節できます。
感度高　→　感度中　→　感度低
→　センサー OFF
※調整方法は、姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR（14 ページ）をご覧ください。

■G-SELECTOR 機能

G センサーで、本製品の現在の向き（A 面 /B 面）を検出します。
パソコンに接続時には、以下の動作をおこないます。

A 面 /B 面	パソコンと接続したときの動作
A 面を上	ハードディスクドライブと仮想 DVD-RW ドライブとして認識します。 仮想 DVD-RW ドライブには、通常の DVD-RW ドライブとして、書き込み、読み出しがおこなえます。 
B 面を上	ハードディスクドライブと仮想サポートソフト CD-ROM として認識します。 仮想サポートソフト CD-ROM 内には、サポートソフトウェアが収録されていて、実行することができます。 ※サポートソフトウェアについては、以下をご覧ください。 ・バックアップアプリ Acronis True Image（9 ページ） ・姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR（14 ページ） ・ドライブ認識変更ツール（16 ページ） 



■G-SENS・MONITOR (姿勢表示機能)

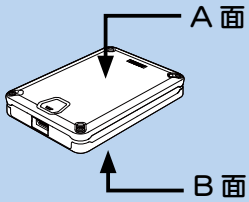


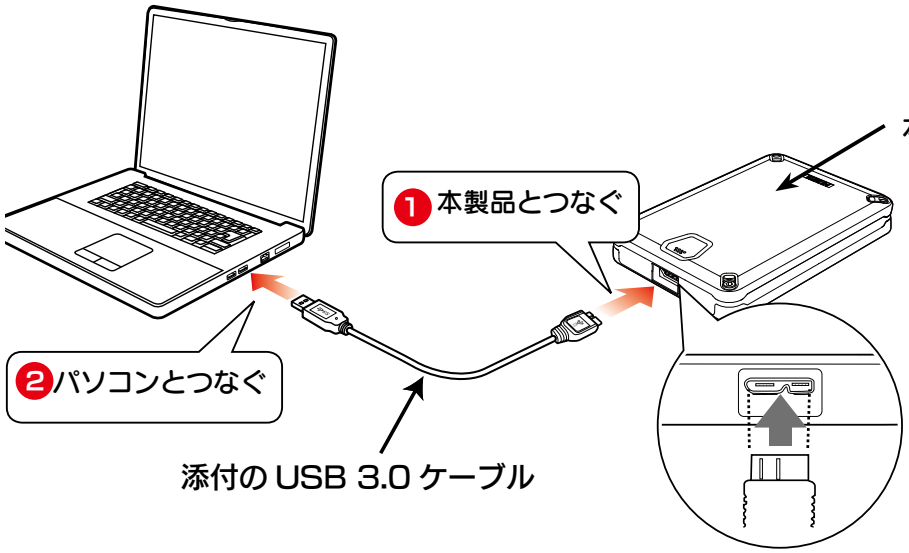
本製品の現在の姿勢状態を、3D で表示します。
※姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR（14 ページ）参照。

パソコンとつなぐ

1 パソコンの電源をオンにします。

2 パソコンとつなぎます。
本製品をパソコンにつなぐ際に、A 面を上にしてつなぐ場合と B 面を上にしてつなぐ場合では、機能が異なります。
※以下の手順は、A 面を上にしてつないだ場合の例です。



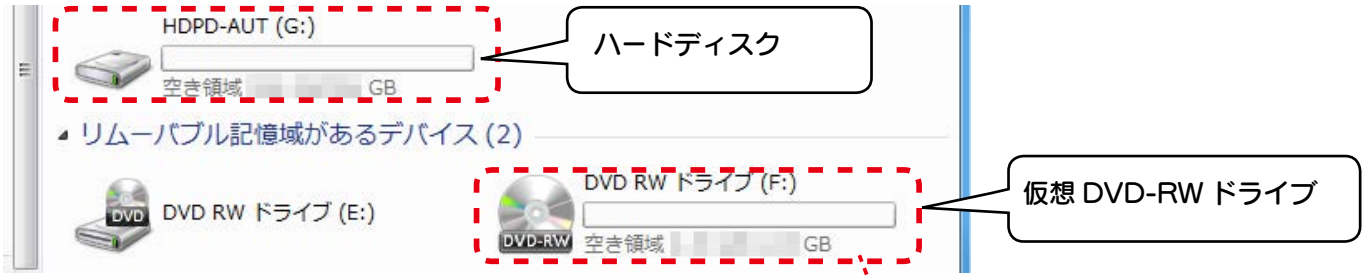


本製品（A 面を上にした場合）

各部の名称（3 ページ）参照

※パソコン本体の USB バス電源供給性能により、一部の機種においてオプションの AC アダプターが必要な場合があります。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/

3 コンピューター（コンピュータ、マイコンピュータ）のアイコンの追加を確認します。
以下のように、ハードディスクと仮想 DVD-RW(CD-ROM) ドライブのアイコンが追加されていれば、本製品を使用できます。



▲ Windows 7 の場合

B 面を上にしてパソコンにつないだ場合は、仮想サポートソフト CD-ROM として認識されます。



? 本製品のアイコンが表示されない場合

困ったときには（26 ページ）の「本製品をパソコンに接続しても認識しない」をご覧ください。

使う

本製品をパソコンにつないで、以下のような使い方ができます。

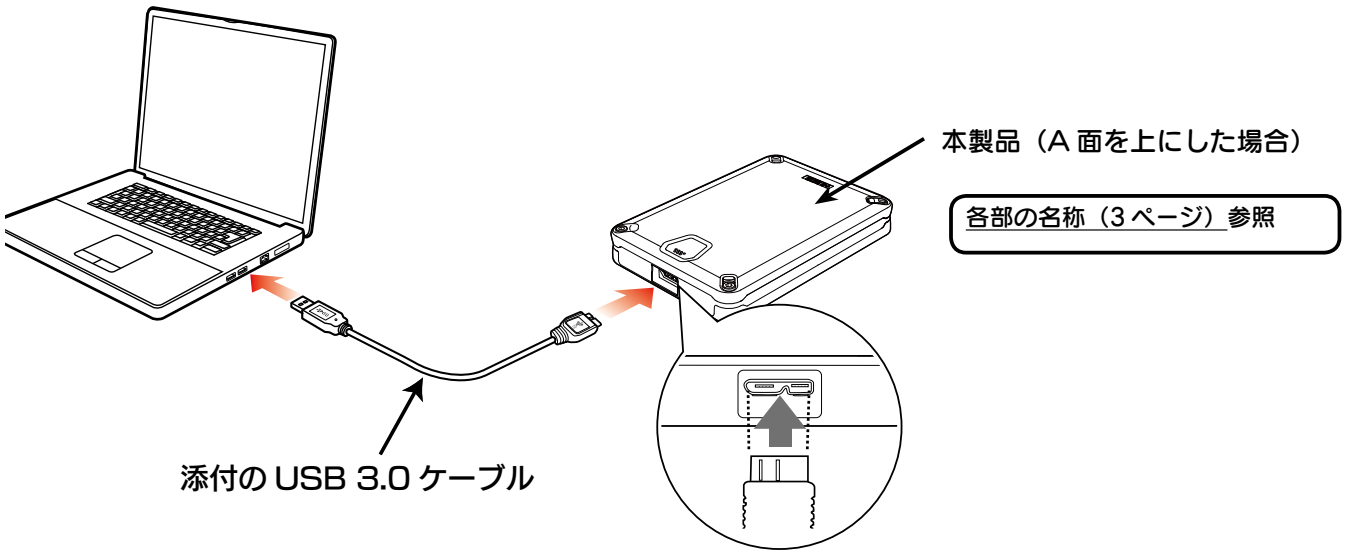
・通常のハードディスクのように、データの保存、読み出しをする
・「仮想 DVD-RW」を DVD-RW ドライブとして使用する（A 面を上にした場合）
・「仮想サポートソフト CD-ROM」内のアプリを利用する （B 面を上にした場合）

（注意）

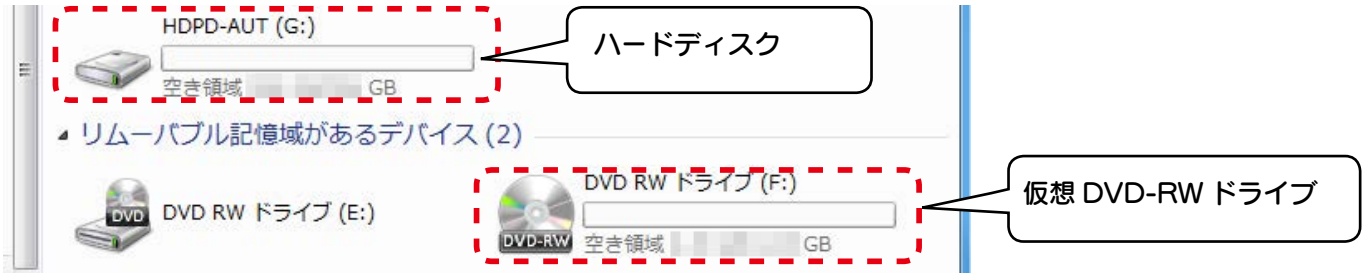
● A 面と B 面を切り替える際は、いったんパソコンから抜いてから、つなぎなおしてください。

A 面を上にしてパソコンにつないだ場合

1 パソコンに接続します。



2 アイコンを確認します。



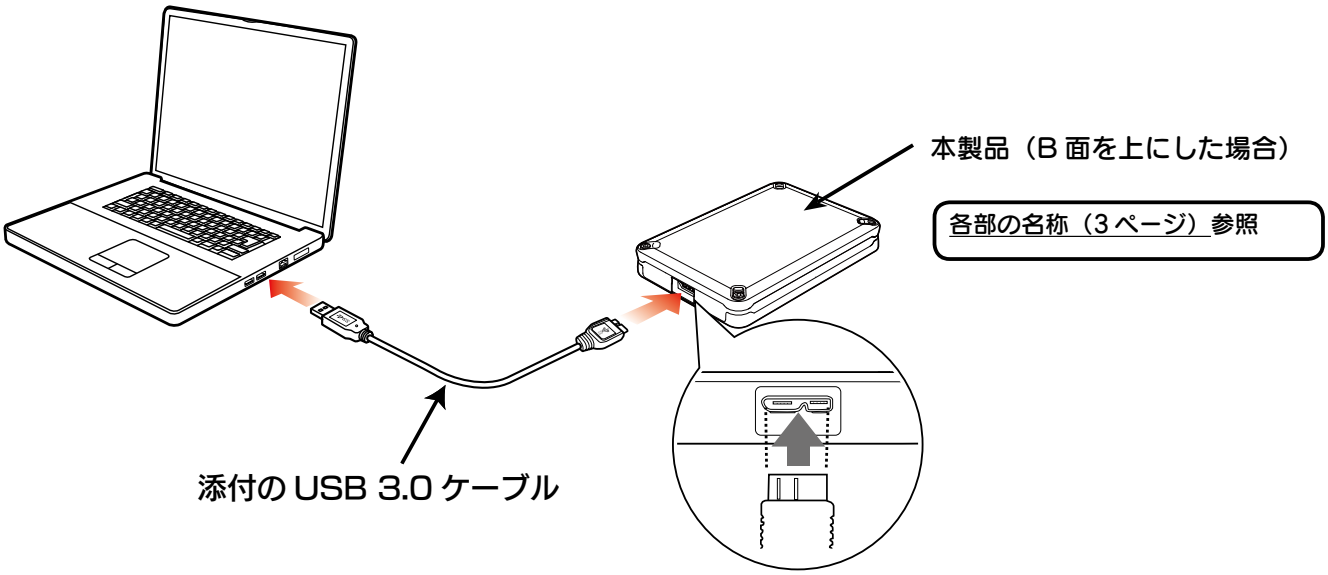
▲ Windows 7 の場合

ハードディスクとして使用する他に、本製品の一部を「仮想 DVD-RW メディア」として使用できます。
通常の DVD-RW ドライブと同様に、ISO イメージをマウントしたり、データを書き込んだりすることができるので、便利な仮想ディスクとして使用できます。
Windows 標準のライティング（Windows Vista 以降）またはライティングソフト※で書き込み、消去ができます。

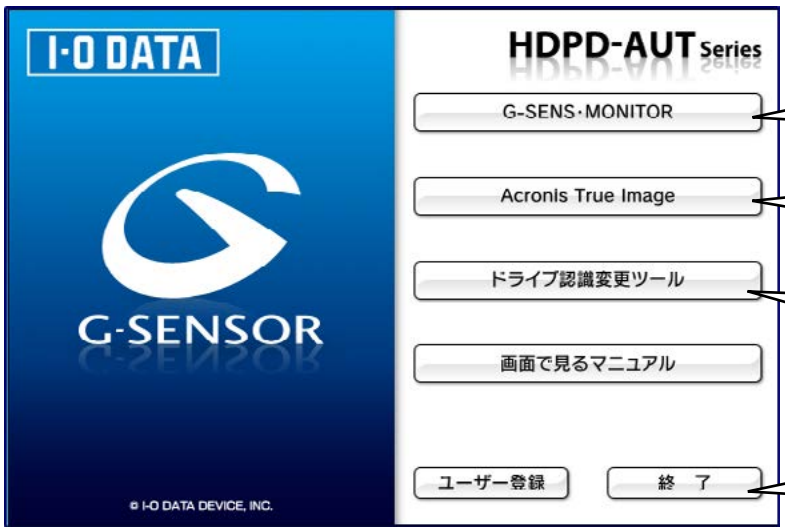
※ nero 10 /12 で確認
ライティングに関しまして、当社での書込み方法のサポートはいたしかねます。
ライティングソフトウェアの取扱説明書または、OS のオンラインヘルプなどを参照してください。

B 面を上にしてパソコンにつないだ場合

1 パソコンに接続します。



2 以下のメニュー画面が表示されます。



姿勢表示アプリ「G-SENS·MONITOR」を起動します。

バックアップアプリ「Acronis True Image」をインストールします。

「ドライブ認識変更ツール」を起動します。

本画面を終了します。

※上記メニュー画面が表示されない場合は、CD ドライブ 「HDPDAUT_XXX」をダブルクリック→ [menu.exe] をダブルクリックします

ハードディスクとして使用する他に、本製品の一部を「仮想サポートソフト CD-ROM」として認識します。



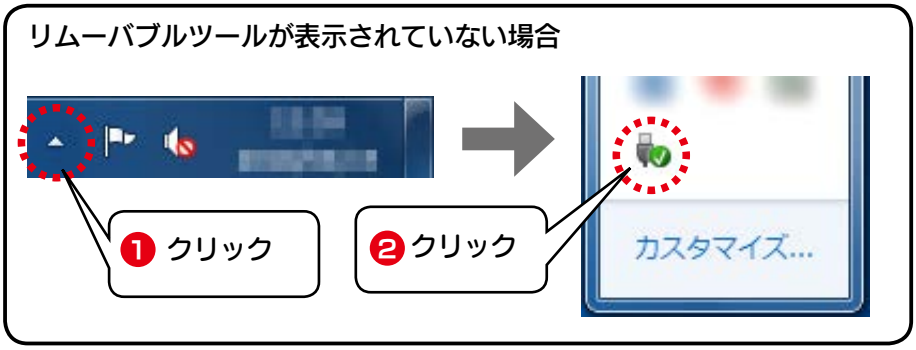
取り外す

ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

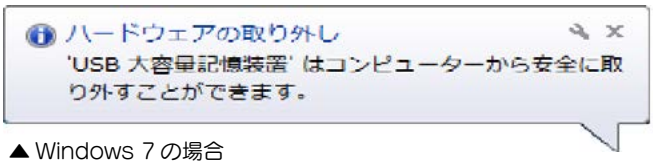
1 画面右下のタスクトレイのリムーバブルツールをクリックし、本製品の表示をクリックします。



▲Windows 7 の場合



2 メッセージを確認します。



▲Windows 7 の場合

表示は OS により異なります。
● Windows 8/7/XP の場合　：[×] をクリックします。
● Windows Vista の場合　：[OK] をクリックします。

3 本製品を取り外します。

ケーブルはコネクターを持って抜きます。

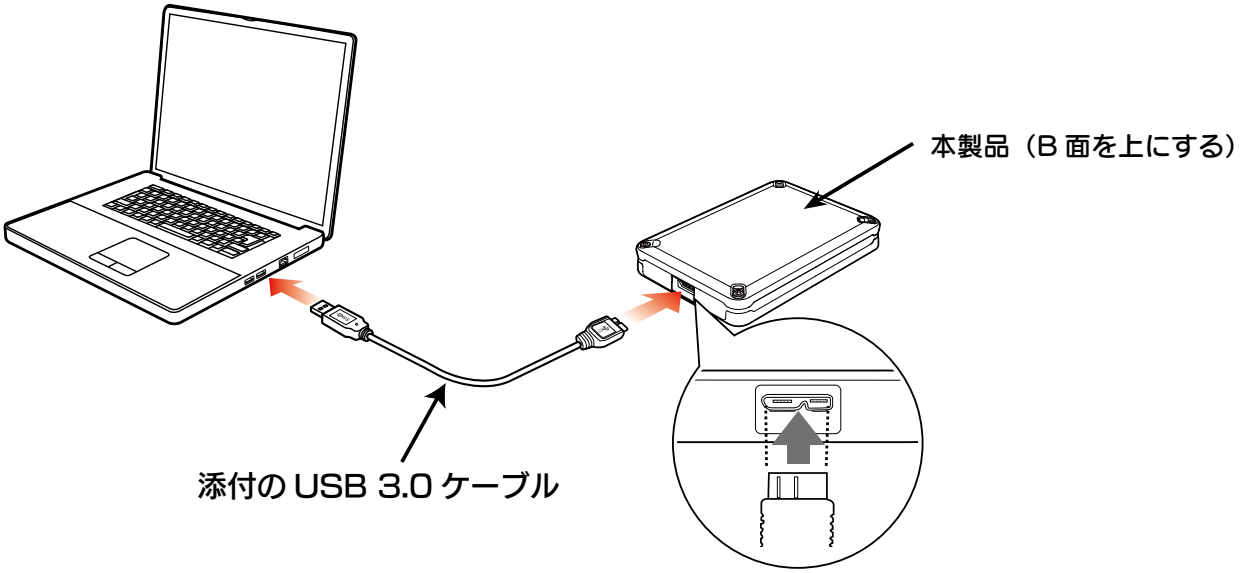
バックアップアプリ Acronis True Image

ここでは「Acronis True Image」のインストール手順と使用例について説明します。

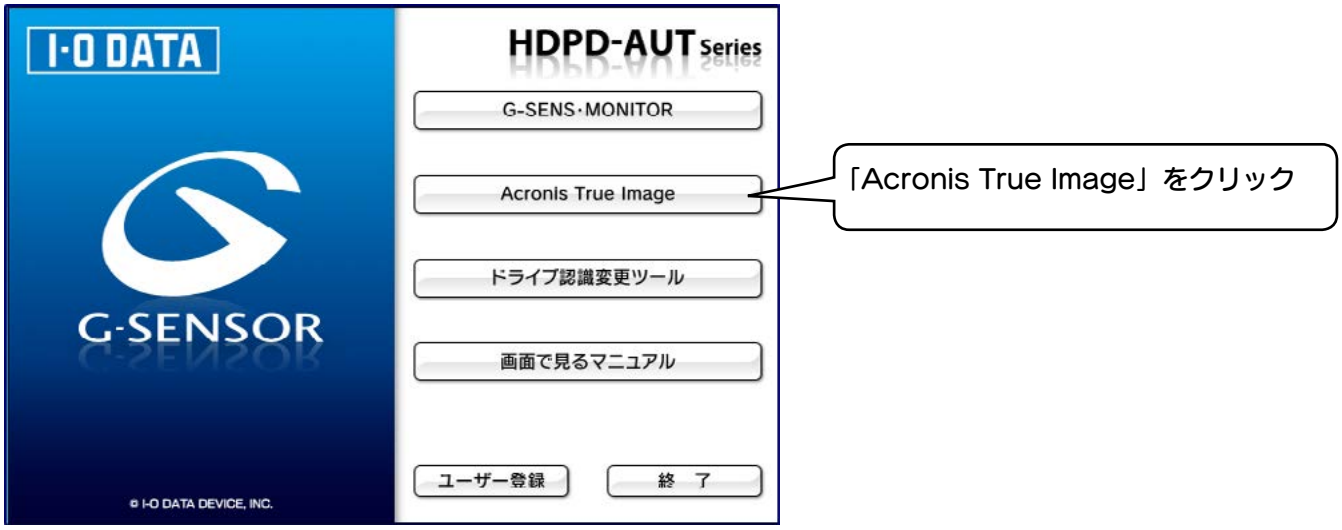
※「Acronis True Image」については、下記ページにも記載されています。ご覧ください。
http://www.iodata.jp/r/4266

インストールする

1 本製品の B 面を上にして、パソコンに接続します。



2 以下のメニュー画面が表示されます。
「Acronis True Image」をクリックします。

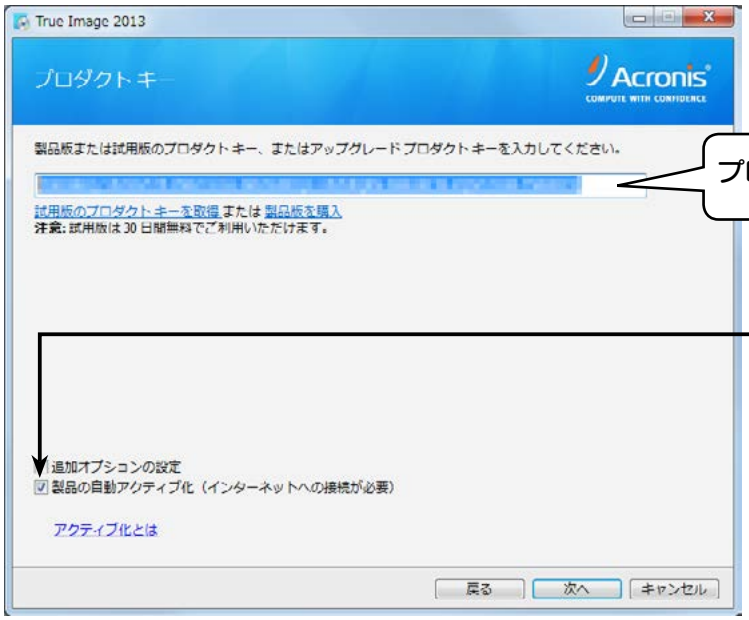


※上記メニュー画面が表示されない場合は、CD ドライブ 「HDPDAUT_XXX」をダブルクリック→ [menu.exe] をダブルクリックします

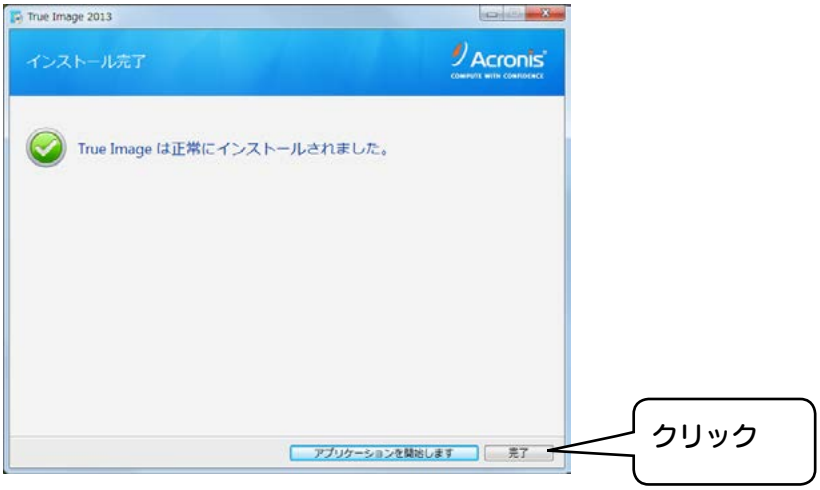
3 以下のメニュー画面が表示されます。
「True Image 2013 のインストール」をクリックします。
以降は、画面の指示にしたがってすすめてください。



4 以下のプロダクトキー入力画面が画面が表示されたときは、添付のセットアップガイド（Windows 版）に記載されている「プロダクトキー」を参照して、入力してください。



5 以下の画面が表示されましたら、インストール完了です。
［完了］をクリックします。



起動する

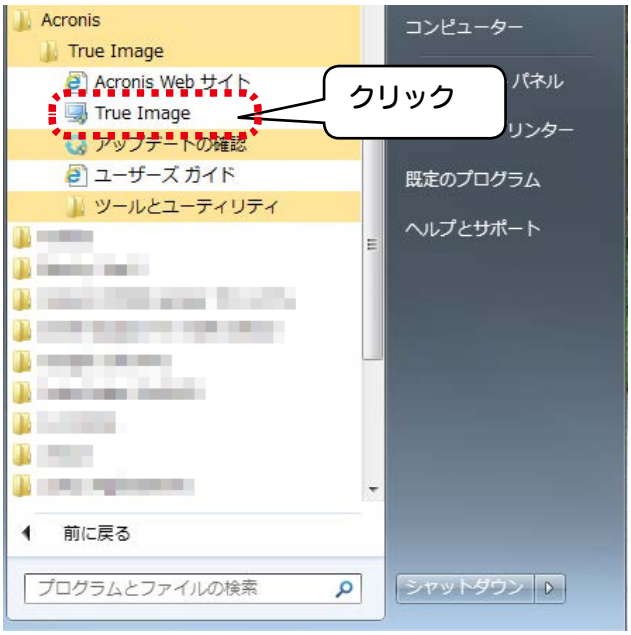
1 [True Image 2013] アイコンをダブルクリックします。
[スタート] から [True Image] をクリックしても起動できます。 （下記参照）



ダブルクリック

または

[スタート] → [すべてのプログラム] → [Acronis] → [True Image] → [True Image] を順にクリックします。



▲ Windows 7 の場合

2 以下の画面が表示されます。
くわしい使用方法は、[ヘルプ] をクリックしてご覧ください。

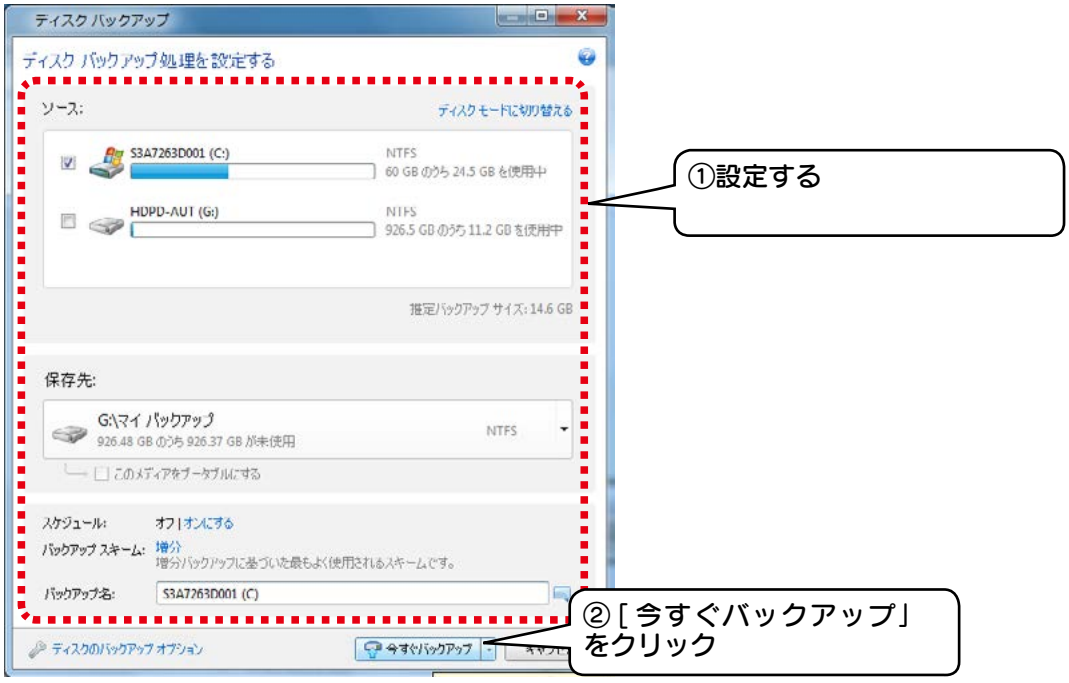


バックアップする

1 [バックアップとリカバリ] タブをクリックし、[データのバックアップ] アイコンをクリックします。



2 バックアップするソースを選択し、保存先、などを指定し、[今すぐバックアップ] をクリックします。

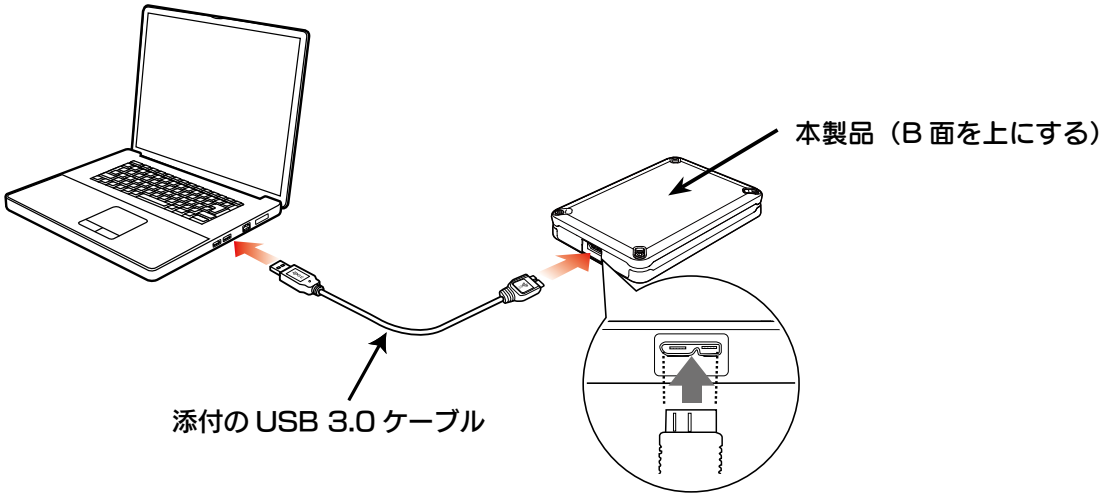


リカバリ（復元）する

ここではシステムを復元する手順について説明します。

1 リカバリするパソコンの BIOS で起動順序を設定して、USB、CD-ROM から起動するように設定し、パソコンの電源を切ります。
※ BIOS の使用方法は、お使いのパソコンのマニュアルをご覧ください。
※リカバリ完了後、設定を戻してください。

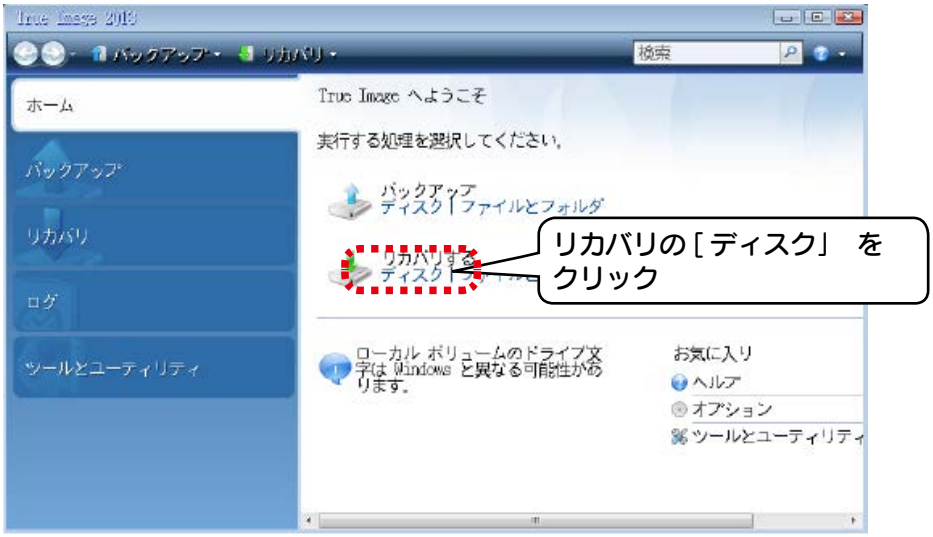
2 B 面を上にしてパソコンに接続します。



3 パソコンの電源を入れます。
⇒仮想 CD-ROM から True Image が起動します。

4 起動メニューで [True Image] を選択します。

5 リカバリの [ディスク] をクリックします。



以降は、画面にしたがってすすめてください。
詳細は、「True Image」のユーザーガイドをご覧ください。

姿勢表示アプリ G-SENS・MONITOR

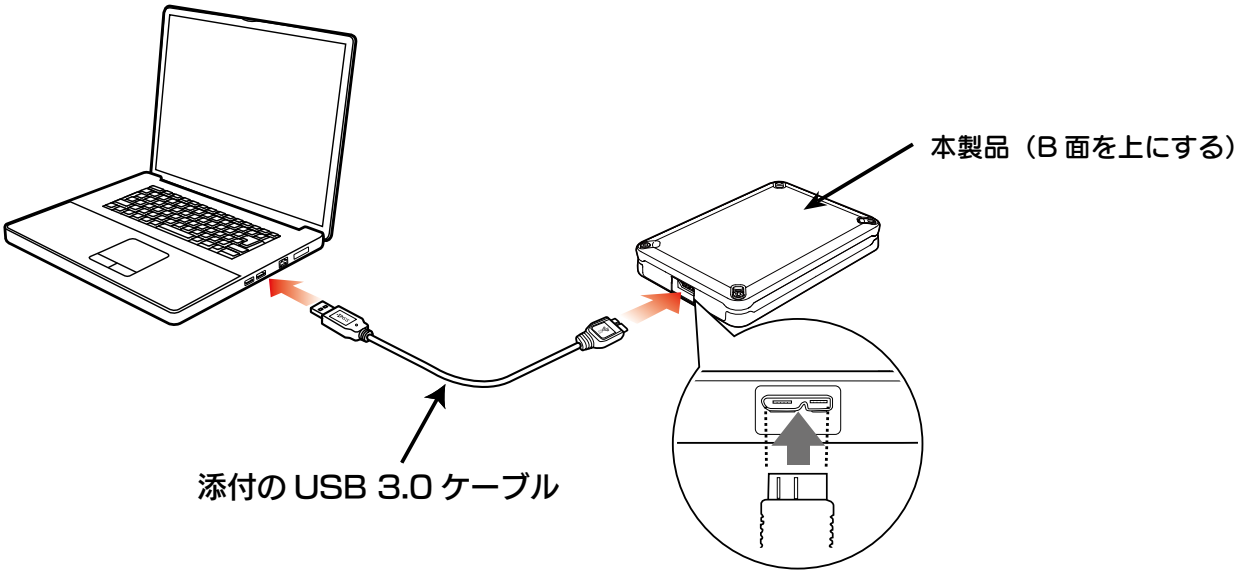
ここでは「G-SENS・MONITOR」の操作方法について説明します。

起動する

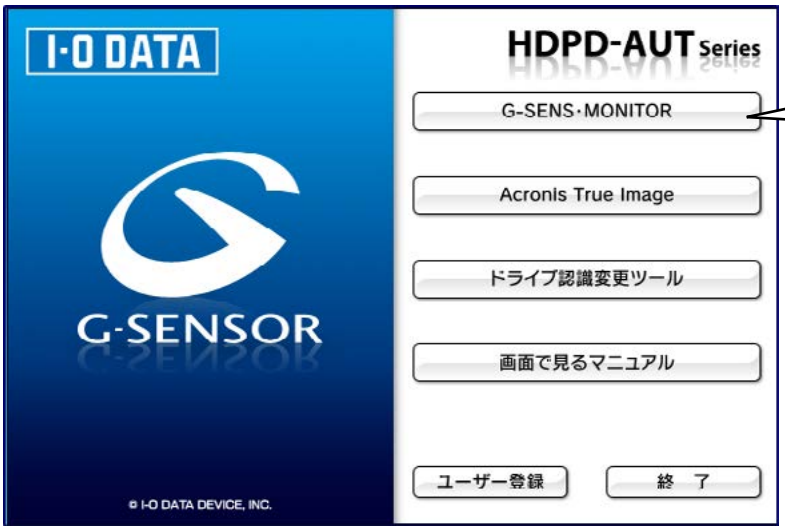
（注意）

●コンピューターの管理者権限でログオンしてください。

1 本製品の B 面を上にして、パソコンに接続します。



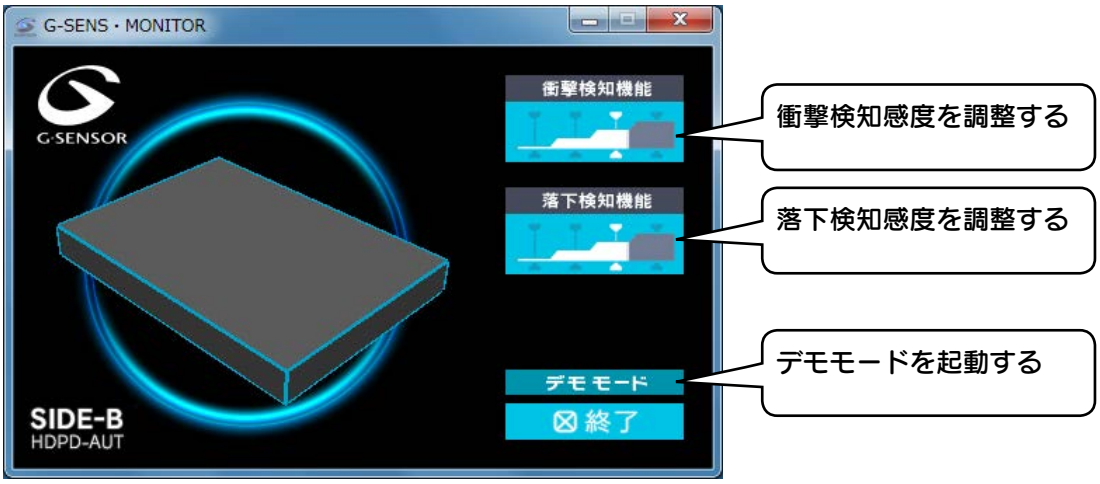
2 以下のメニュー画面が表示されます。
[G-SENS・MONITOR」をクリックします。



[G-SENS・MONITOR] をクリック

※上記メニュー画面が表示されない場合は、CD ドライブ 「HDPDAUT_XXX」をダブルクリック→ [menu.exe] をダブルクリックします

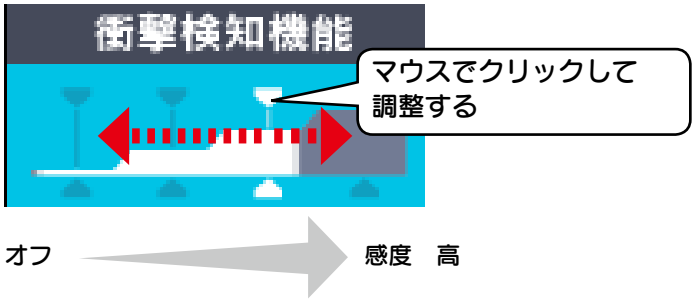
3 現在の姿勢が表示されます。
衝撃検知感度、落下検知感度の調整、デモモードの起動ができます。



（注意）
●実際に傾けて確認するときには、デモモードに切り替えてお試しいただくことをお勧めします。

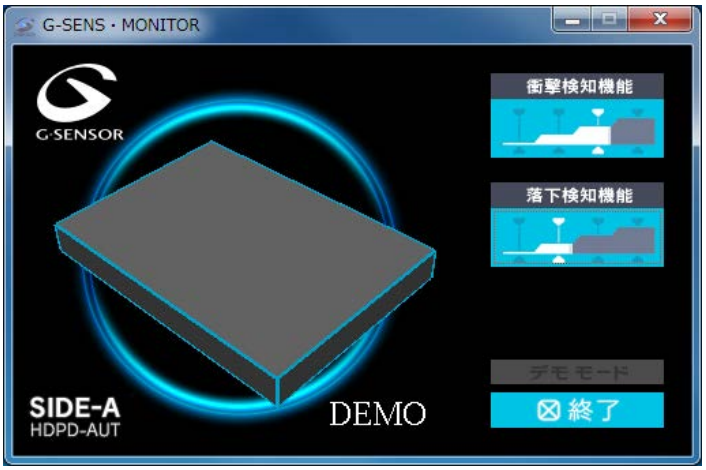
■センサー感度調整

衝撃検知、落下検知の感度の調整は下記のようにマウスでクリックしておこないます。



デモモード

デモモードを実行すると、ハードディスク部分に影響しないように、ハードディスク本体を切り離し、姿勢状態のみ 3D で表示します。



※デモモードに移行すると、ハードディスクの電源が切れます。
その間、下記の画面が表示されます。



※デモモードを終了するときは、[終了] ボタンをクリックします。使用する際は、パソコンから取り外して、再度つなげてください。

実際に傾けて確認するときには、デモモードに切り替えてお試しいただくことをお勧めします。

ドライブ認識変更ツール

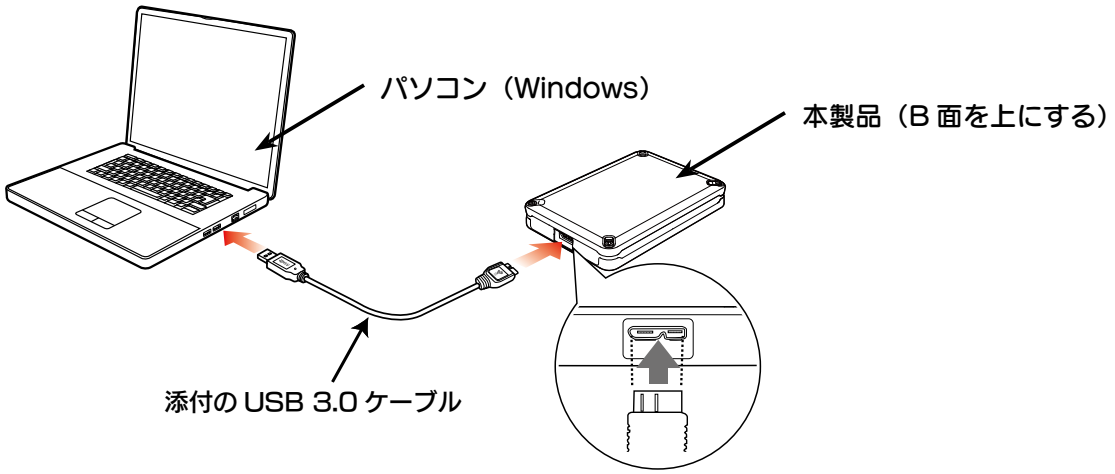
Macintosh をお使いの方で、本製品に Mac OS をインストールして起動する場合は、「ドライブ認識変更ツール」を実行してください。

起動する

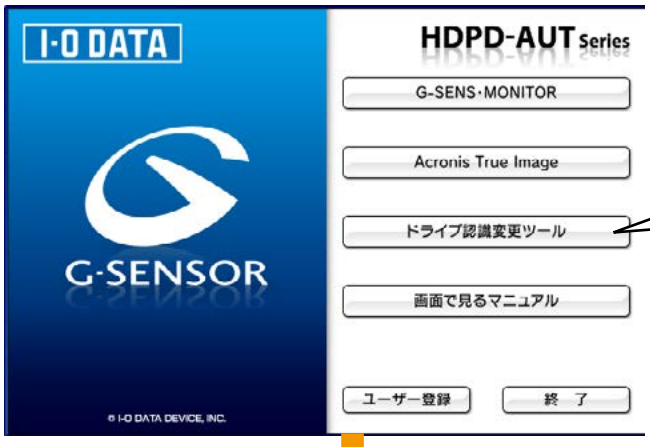
（注意）

●コンピューターの管理者権限でログオンしてください。

1 本製品の B 面を上にして、パソコン（Windows）に接続します。



2 以下のメニュー画面が表示されます。
[G-SENS・MONITOR」をクリックします。



[ドライブ認識変更ツール] をクリック

※左記メニュー画面が表示されない場合は、CD ドライブ「HDPDAUT_XXX」をダブルクリック→ [menu.exe] をダブルクリックします。



フォーマットする

当社提供、「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」をダウンロードして、フォーマットします。
どのようなときにフォーマットが必要かは、フォーマットが必要な場合（2 ページ）を参照してください。

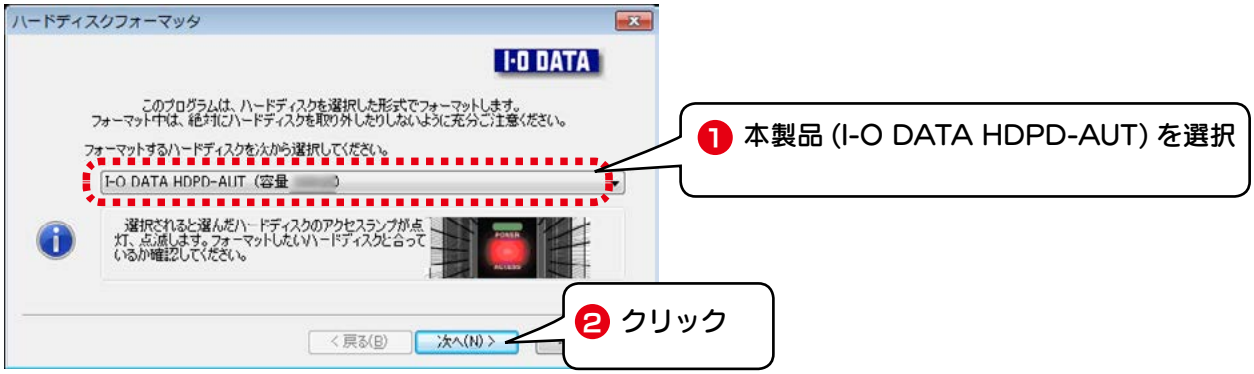
（注意）●フォーマットするとデータはすべて消去されます。
必要なデータがある場合は、先に、別のメディア (CD-R、ハードディスク等) に データをバックアップしてください。
●本製品以外の USB 機器をできるだけ取り外してください。
誤消去を防ぐため、他の USB 機器はできるだけ取り外しておくことを強くお勧めします。

「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」ダウンロードは、以下の URL にアクセスします。
http://www.iodata.jp/lib/product/i/2107.htm

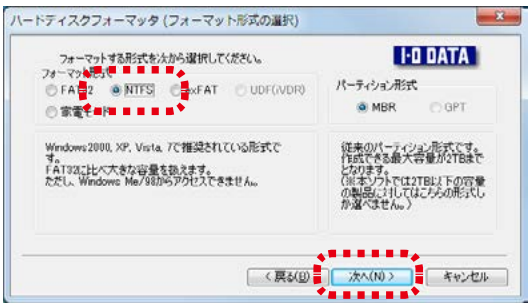
1 本製品とパソコンを接続します。
本製品以外のハードディスクはパソコンから取り外しておくことをおすすめします。

2 「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」を起動します。

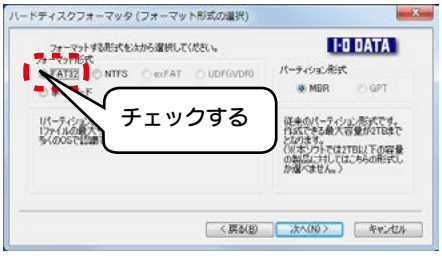
3 本製品を選択後、[次へ] をクリックします。



4 フォーマット形式を選択後、[次へ] をクリックします。



FAT32 形式でフォーマットする場合



5 確認画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

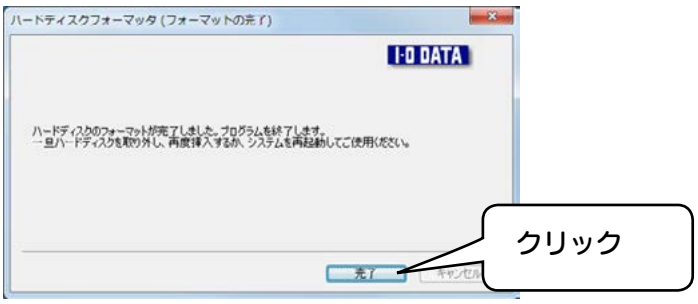
6 注意事項を確認後、[注意事項に同意します] にチェックして、[次へ] をクリックします。

7 [実行] をクリックします。



8 しばらくしてからフォーマットが始まります。

9 以下の画面が表示されましたら本製品のフォーマットは終了です。 [完了] をクリックします。



以上で、フォーマットが完了です。

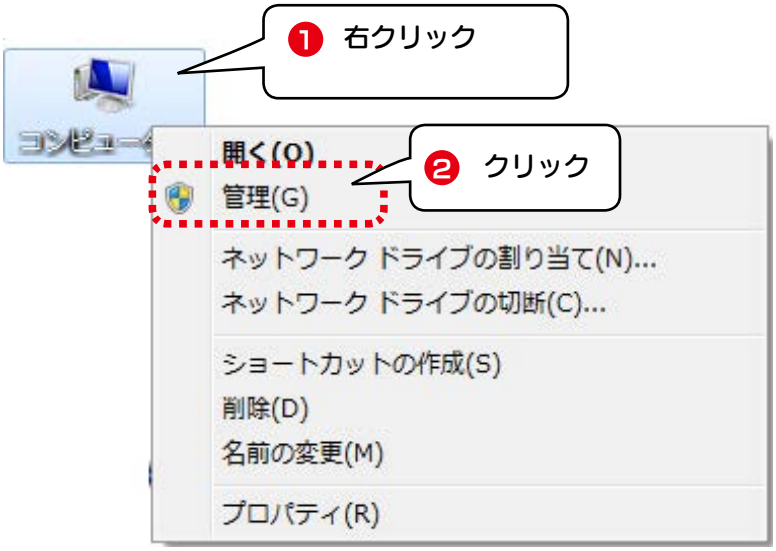
パーティションを作り直す

本製品のパーティションを複数作成したい場合は、下記手順を参照してフォーマットし直してください。

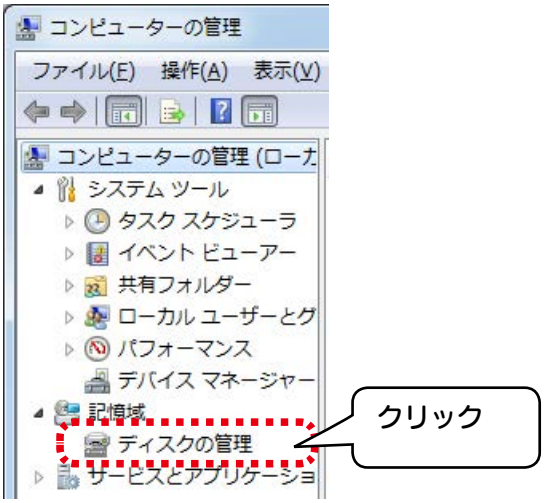
（注意）

●コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
●パーティションを作り直すとデータは消去されます。
　必要なデータがある場合は、先に、別のメディア（CD-R、ハードディスク等）に データをバックアップしてください。
●本製品以外の USB 機器をできるだけ取り外してください。
　誤消去を防ぐため、他の USB 機器はできるだけ取り外しておくことを強くお勧めします。

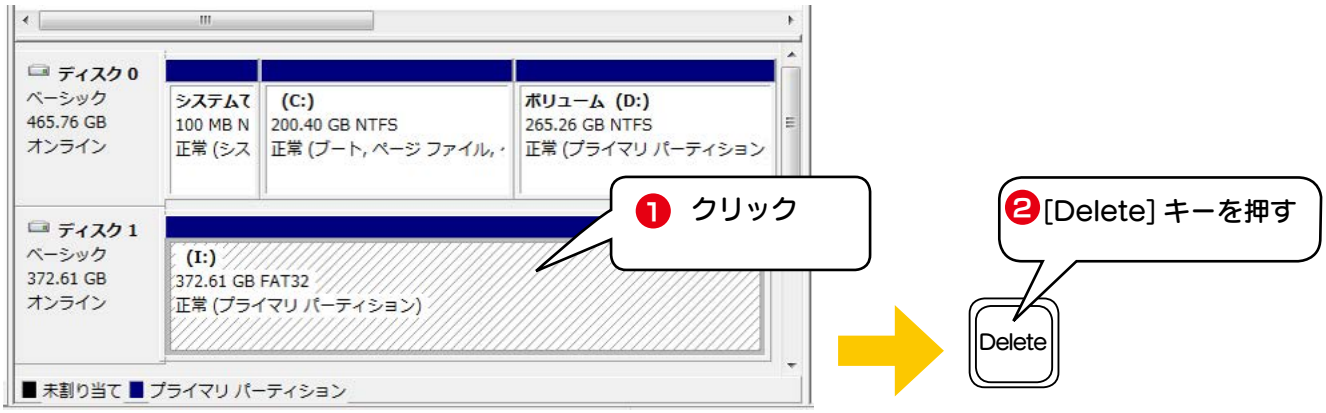
1 コンピューター（コンピュータ、マイコンピュータ）アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［管理］をクリックします。



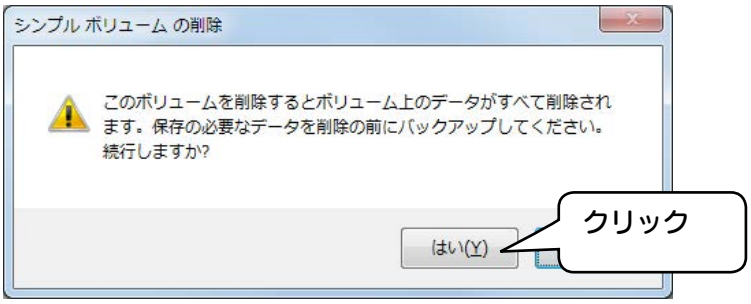
2 ［記憶域］の下の［ディスクの管理］をクリックします。



3 削除するパーティションをクリックし、キーボードの [Delete] キーを押します。



4 確認画面が表示されますので、[はい] をクリックします。 ⇒パーティションが削除され、「未割り当て」になります。



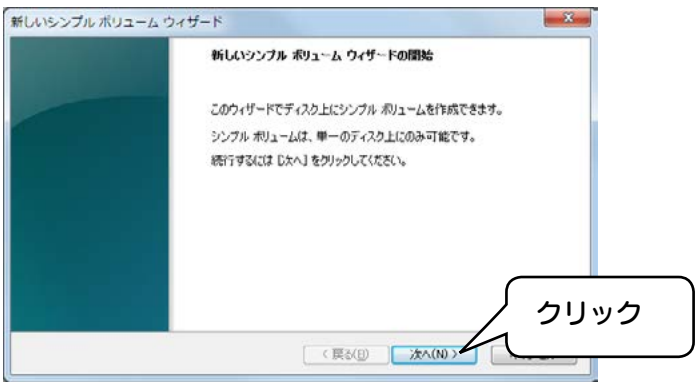
「未割り当て」ではなく「空き領域」になる場合

拡張パーティションの中の論理ドライブを削除しています。
続けて、「空き領域」も削除してください。
「拡張パーティション」や「論理ドライブ」などについては、Windows の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

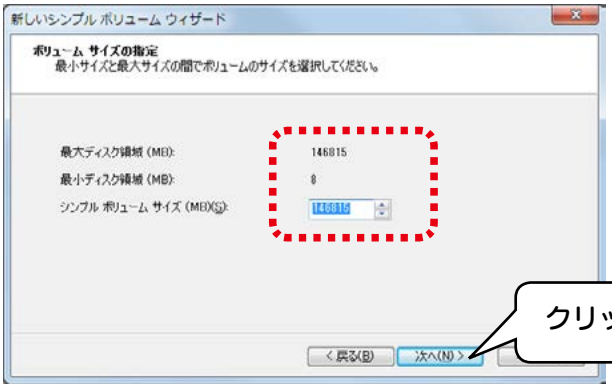
5 [未割り当て] の領域部分を右クリックし、[新しいシンプルボリューム] をクリックします。



6 [次へ] をクリックします。

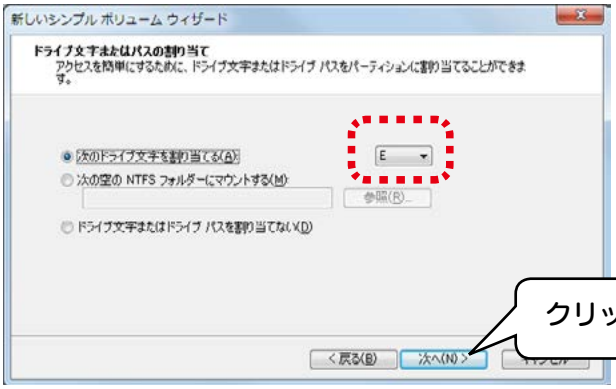


7 「シンプルボリュームサイズ」が「最大ディスク領域」と同じであることを確認し、[次へ] をクリックします。
⇒シンプルボリュームサイズが設定されます。



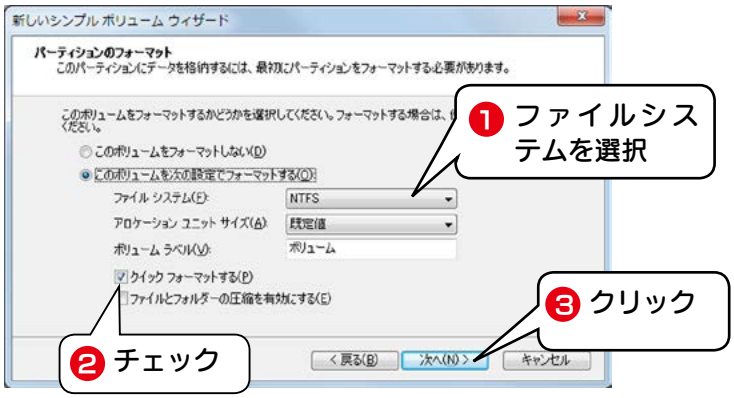
本製品を分割して使用したい場合
ここでは、本製品を分割せず１つのパーティションで使う方法を案内しています。本製品を分割したい場合は、ここで「シンプルボリュームサイズ」を使い切らずに残しておく必要があります。
詳細は、Windows の取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

8 ドライブ文字を確認して、[次へ] をクリックします。

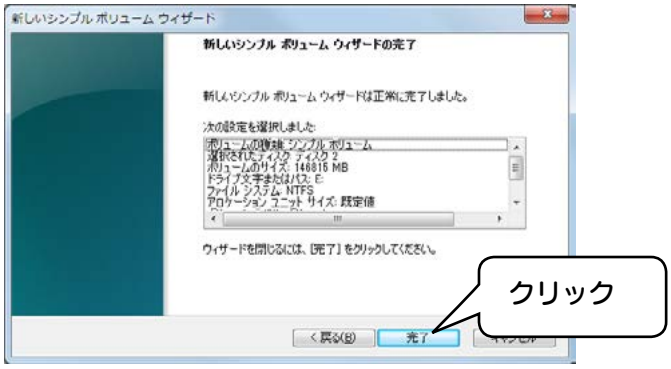


ドライブ文字の割り当て
ドライブ文字はこの画面で設定されます。
[次のドライブ文字を割り当てる] には 空いているドライブ文字を選択してください。(初期値はパソコンが自動的に空いていると判別したドライブ文字が表示されます。)

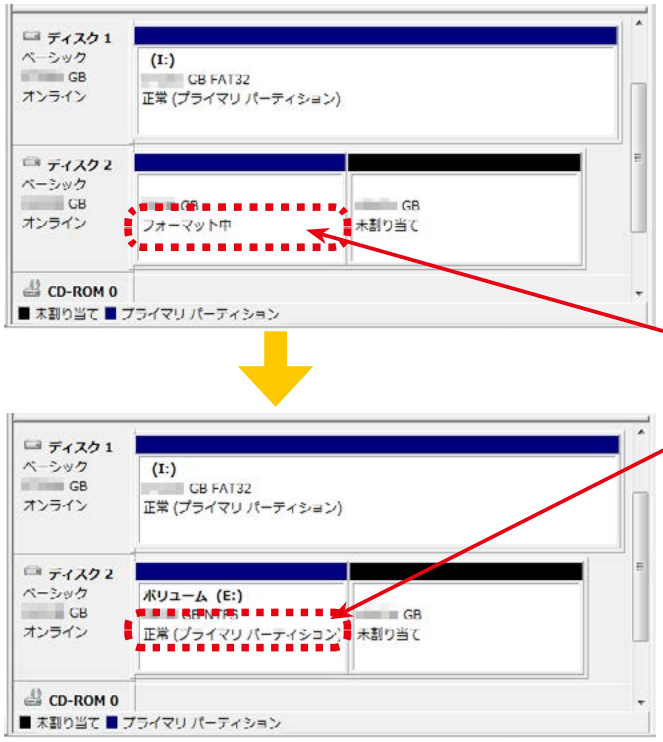
9 ファイルシステムを選択し、[クイックフォーマットする] をチェック後、[次へ] ボタンをクリックします。



10 設定を確認して、[完了] ボタンをクリックします。
⇒パーティションの作成とフォーマットが行われます 。



11 パーティションの作成とフォーマットが行われます 。



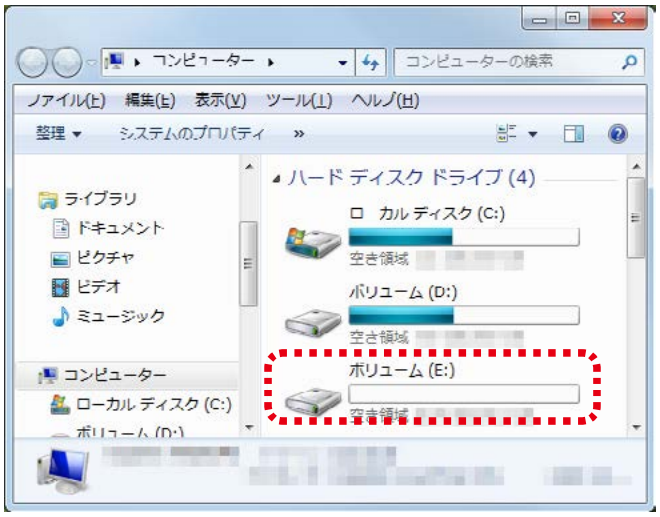
[フォーマット中] から [正常] になるまでお待ちください。

本製品を分割する場合

本製品を複数のパーティションで分割する場合は、もう一度手順 5（パーティションの作成）から同様に作業を行い、「未割り当て」領域をパーティションに割り当ててください。

12 右上の×ボタンをクリックし、[ディスクの管理] 画面を閉じます。

13 コンピューター（コンピュータ、マイコンピュータ）アイコンをダブルクリックして開き、本製品のアイコンがあるか確認します。
新しいドライブ文字のハードディスクアイコンが、本製品のアイコンです。



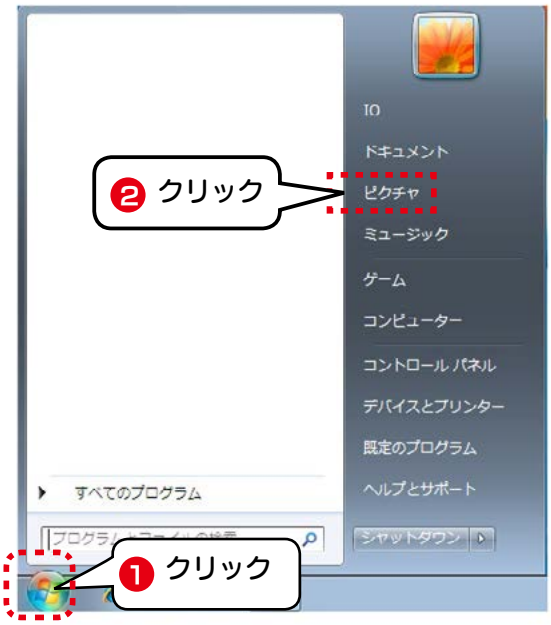
以上でパーティションの作成は終了です。
再起動せずに、そのまま本製品をご使用いただけます。

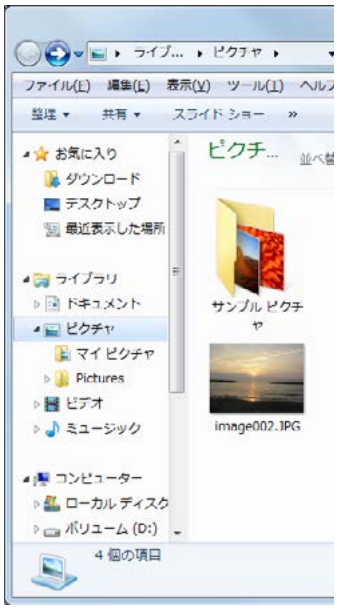
データをコピーする　初心者用

※以下の操作、画面は、Windows 7 の場合の例です。

1 データの保存場所を開きます。

例 1 写真データがピクチャまたはマイピクチャ（MyPictures）に保存されている場合

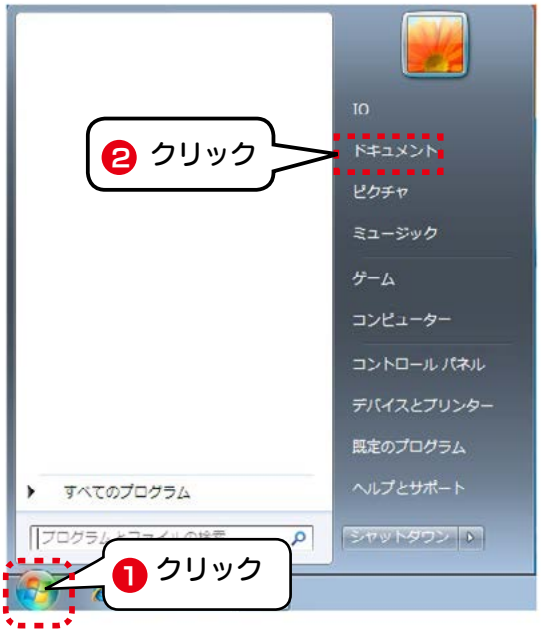


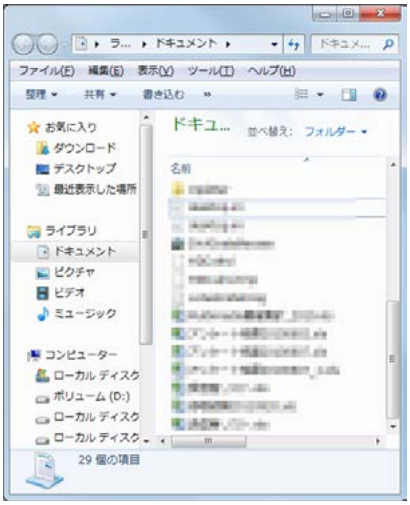


写真データの保存場所が不明な場合

カメラに添付のソフトウェアを使用して写真データをパソコンに保存されている場合、各ソフトウェアにより保存場所が異なることがあります。
各ソフトメーカーに写真データの保管場所についてご確認ください。

例 2 コピーしたいデータがドキュメント（マイドキュメント）に保存されている場合





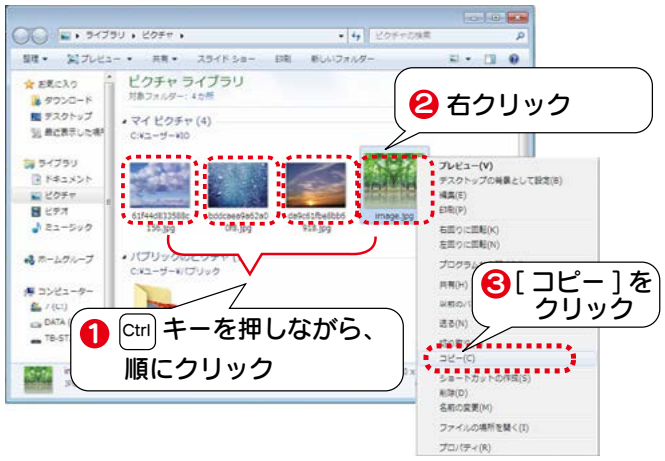
データの保存場所が不明な場合

ご使用のソフトメーカーにファイルの保管場所等についてご確認ください。

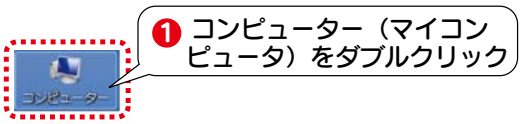
2 コピーするデータを選択します。



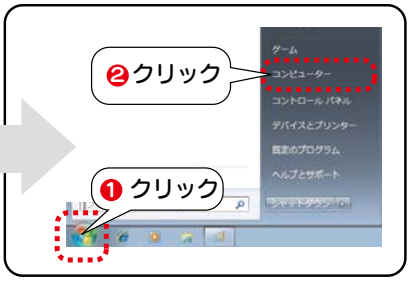
複数のデータを選択する場合



3 コピー先（ハードディスク）を開きます。

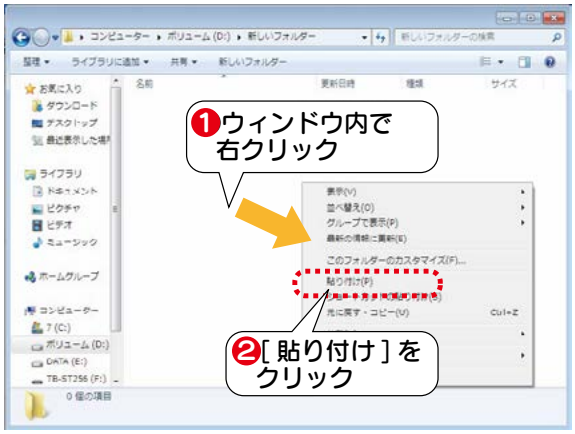


コンピューター (マイコンピュータ) が画面上にない場合

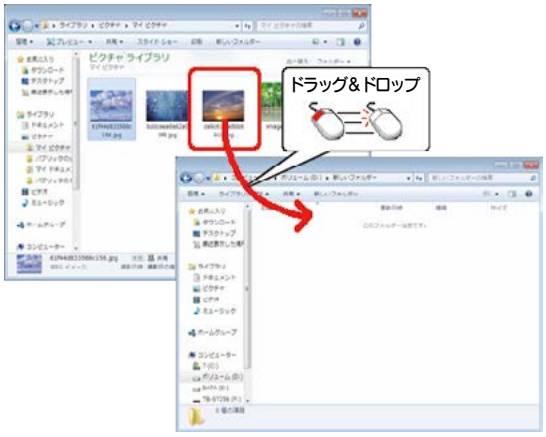




4 データをコピー（貼り付ける）する



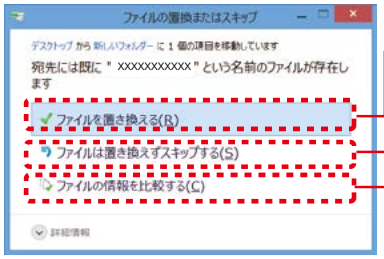
ドラッグ＆ドロップでコピーする場合



本製品内のフォルダから本製品内のフォルダへデータをコピーする場合は、ドラッグ&ドロップでコピーしないでください。その場合、左記の手順に従ってデータをコピーし、貼り付けてください。

コピー先フォルダに同じ名前のファイルがある場合

コピー先フォルダに同じ名前のファイルがある場合、ウィンドウが表示され、動作を選択します。



▼Windows 8の場合

- ファイルを置き換える　⇒上書きコピーします。
- ファイルは置き換えずスキップする　⇒データはコピーされません。
- ファイルの情報を比較する　⇒両ファイルの情報を見て選択します。



▼Windows 7、Vistaの場合

- コピーして置き換える　⇒上書きコピーします。
- コピーしない　⇒データはコピーされません。
- コピーするが両方のファイルを保持する　⇒自動でファイル名を変更し、データをコピーします。

▼Windows XPの場合

はい　⇒上書きコピーします。
いいえ　⇒データはコピーされません。

困ったときには

パソコン接続時 / 取り外し時の問題

本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがコンピューター (マイコンピュータ) に表示されない）	
対処１	最新の情報が表示されていません。 コンピューター（マイコンピュータ）の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。
対処２	ケーブルの接触や、USB ハブやパソコン環境との問題があります。 ·接続するポートを変えてください。USB ハブに接続している場合は、パソコン本体のポートに直接接続してください。 · 各ケーブルを挿し直し、接触がゆるくないかを確認してください。 · 他に接続可能なパソコンがある場合は、そちらに接続し本製品が認識するか確認してください。
対処３	Mac で使用していた Mac で専用フォーマットを行なった場合は、Windows 上でアイコンが表示されません。Windows でお使いになる場合は、フォーマットし直す必要があります。フォーマットする（17 ページ）参照。 ※フォーマットを行なうと、保存されたデータは全て消去されます。
対処４	他の USB 機器を使用している 他の USB 機器の使用が終わってから、本製品を USB ポートに接続しなおしてみてください。
対処５	本製品を取り外し、再度つなげてみてください。
対処６	パソコンを再起動してみてください。
対処７	USB ポートからの供給電力が不足しています。 弊社別売り AC アダプター USB-ACADP5 を接続してください。

本製品から OS を起動できない	
対処	本製品からの OS の起動はサポートされていません。

スタンバイ / 休止状態から戻ると、本製品が認識されていない	
対処	スタンバイ / 休止状態から復帰する際に、認識されないことがあります。 本製品を取り外し、もう一度接続してください。 それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。 ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイおよび休止状態などの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

本製品の LED が点灯しない	
対処１	接続する USB ポートの供給する電源が足りません。 USB ハブに接続している場合は、USB ハブに電源を供給できるか（電源コードで電源に接続しているか）ご確認ください。
対処２	パソコンの電源が入っていません。 電源の入っているパソコンに接続しないと本製品の電源は入りません。
対処３	本製品が故障している可能性があります。 弊社修理センターにご依頼ください。
対処４	USB ポートからの供給電力が不足しています。 弊社別売り AC アダプター USB-ACADP5 を接続してください。

パソコンの電源を切っても、本製品の LED が消えない	
対処１	環境によっては、パソコンの電源を切っても、本製品の電源が自動的に切れない、またはパソコンによっては、電源を切ってもポートに電源が供給されている場合があります。 その場合は、本製品の電源は入ったままとなります。 本製品をパソコンから取り外してください。
対処２	インターフェイスが正しく認識されていません。 各パソコンの取扱説明書をご覧になり、正常に認識されているかをご確認ください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動途中でパソコンが動かなくなる	
対処１	USB 機器からの起動に対応したパソコンに接続している場合は、パソコンの設定により、USB 機器から起動できないようにしてください。 詳しい方法については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。
対処２	ケーブルの接触や、USB ハブやパソコン環境との問題がないか確認してください。 ·接続するポートを変えてください。USBハブに接続している場合は、パソコン本体のポートに直接接続してください。 ・各ケーブルを挿し直し、接触がゆるくないかを確認してください。 ・他に接続可能なパソコンがある場合は、そちらに接続し本製品が認識するか確認してください。

USB ハブに本製品を接続しているとエラーが発生する	
対処１	USB ハブによっては、本製品が正常に動作しない場合があります。 USB ハブから本製品を取り外し、パソコンの USB ポートに接続してください。 また、USB ハブに AC アダプターを取り付けられる場合は、AC アダプターを取り付けて電源を供給してください。
対処２	USB ポートからの供給電力が不足しています。 弊社別売り AC アダプター USB-ACADP5 を接続してください。

パソコンから取り外す際に、警告が表示される	
対処	正しい取り外し手順をおこなってください。

本製品を接続すると、パソコンが動かなくなる	
対処	ケーブルの接触や、USB ハブやパソコン環境との問題がないか確認してください。 ·接続するポートを変えてください。USBハブに接続している場合は、パソコン本体のポートに直接接続してください。 ・各ケーブルを挿し直し、接触がゆるくないかを確認してください。 ・他に接続可能なパソコンがある場合は、そちらに接続し本製品が認識するか確認してください。

本製品を接続してパソコンを起動すると、Safe モードになる	
対処	ケーブルの接触や、USB ハブやパソコン環境との問題がないか確認してください。 ·接続するポートを変えてください。USBハブに接続している場合は、パソコン本体のポートに直接接続してください。 ・各ケーブルを挿し直し、接触がゆるくないかを確認してください。 ・他に接続可能なパソコンがある場合は、そちらに接続し本製品が認識するか確認してください。

本製品を接続しているのに添付アプリケーションを起動すると、対象製品が見つからない

■ G-SENS・MONITOR の場合



■ドライブ認識変更ツールの場合



対処	コンピューターの管理者権限でログオンして、ご使用ください。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Server は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
● Windows 8、7、Vista、XP は、それぞれ Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP operating system の略称として表記しています。
● Apple、Mac、Macintosh は、米国およびその他の国で登録された米国 Apple Inc. の登録商標です。
● Acronis、True Image および Acronis ロゴは、Acronis International GmbH の登録商標または商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。